

近畿大学病院心臓血管外科で僧帽弁位の感染性心内膜炎に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院心臓血管外科（以下、当科）では、「MICS アプローチによる僧帽弁位感染性心内膜炎の成績」という臨床研究を行っています。そのため、当科で僧帽弁位の感染性心内膜炎に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。

なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、当院で僧帽弁の感染性心内膜炎に対して「小さな切開で行う低侵襲心臓手術（MICS）」を受けられた方の診療記録を振り返り、手術後の経過や再発の有無を調べるものであります。これにより、この手術方法がどの程度安全で有効かを確認し、今後の治療の質を高めることを目的としています。そのため、当科で僧帽弁位の感染性心内膜炎に対する治療を受けられた患者様のうち、2011年1月～2024年12月に当科で手術を施行された僧帽弁位感染性心内膜炎の症例、ただし弁輪膿瘍・多弁感染・大動脈弁位感染性心内膜炎合併・治癒後感染性心内膜炎は除外した方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後にに関する情報等）
- 各種検査結果（血液検査・細菌検査・病理学的検査・画像検査等）

③ 利用を開始する予定日

医学部長による実施許可日（2025年12月19日）

コメントの追加 [A1]: 文書公開前に審査結果通知書右下の日付の記載をお願いします。

④ 利用する者の範囲

研究責任者：坂口 元一（近畿大学病院 心臓血管外科）

研究分担者：浅田 聰（近畿大学病院 心臓血管外科）

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合

に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、利用又は提供開始日より5年間が経過した時点以降にお申し出いただいても利用を停止することはできませんので、ご了承ください。また、利用又は提供開始日より5年間が経過する前であっても、論文等の公表後となってしまった場合も、お申し出いただいても利用を停止することができない場合もありますので、重ねてご了承ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 心臓血管外科 准教授 浅田 謙

電話：072-288-7222（内線：5657） FAX：072-298-1576

以上